

平成 26 年度
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会
第 2 回理事会

日時 平成 26 年 5 月 15 日(木)

午後 2 時 30 分～午後 4 時 10 分

場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 26 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 2 回理事会

日 時 : 平成 26 年 5 月 15 日（木） 午後 2 時 30 分～午後 4 時 10 分

場 所 : （一社）静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名（理事 18 名・監事 2 名）

横地常広 原田 勉 三宅和秀 松岡敏彦 菌田明広
山口浩司 伊藤喜章 豊田次郎 勝又俊郎 高橋 篤
栗原五美 清水憲雄 市川千津子 海野和浩
榛葉智之（監事） 渡辺時治（監事） 鈴木雅人（書記）
(17 名／全 20 名中 うち理事 15 名／全 18 名中)

役員候補者 9 名

稲村義男 杉澤きよ美 都築農夫志 井川千春 川口貴子
三原利仁 新村善明 山田哲司 梶間弘美

欠席者 : 高島吉則 松川昭宏 加藤智行

議長及び議事録署名人選出

議 長 横地常広
議事録署名人 原田 勉 三宅和秀 松岡敏彦
榛葉智之 渡辺時治（監事）

優先課題

- ・ 学会総会関係（P1～）
- ・ 次期役員案（P6～）
- ・ 次回総会運営案

議題

1. 前回議事録確認

2. 部局報告・審議
 - ・ 学術部 (P7～)
 - ・ 組織部 (P12～)
 - ・ 広報部 (P13～)
 - ・ 会計部 (P21～)
 - ・ 事務局 (P25～)
3. 技師連盟より (P27～)
4. 愛知県医学検査学会シンポジスト (P28)
5. 訂正のお知らせ (P29)
6. ホームページ掲載分 (P31)
7. その他
 - ・ 新入会承認・会員異動 (P51)

・ 次回理事会 (平成 26.年 6 月 14 日 (土) 総会終了後)

優先課題

1. 学会総会関係（藺田常務理事）

- ・プログラムで特別公演は宮島会長の都合によりシンポジウムの後とした。
- ・特別公演の抄録は県学会当日に渡す。また、静臨技ニュース6月号とホームページに掲載する
- ・県学会の参加申し込みを促すメールを中部支部長から東・西支部長宛てに送るので各施設に転送してもらいたい。理事の施設は早めに申し込んでもらいたい。
- ・発表者の施設で医療技術者でない方から参加費の問い合わせがあった。非会員の学会参加費は規定通りであると4,000円になるが、今回のケースでは参加費に上乗せをして3,000円とする。→承認
- ・総会の中で日臨技表彰者の紹介をする。当日、焼津市立総合病院の宮崎氏がみえる。永年表彰者は3名紹介する。
- ・総会后すぐに新理事による理事会があるため全員参加が必要である。当日参加できない場合は、事前に事務局へ連絡する。

2. 次期役員案（別紙参照）

- ・新年度が始まっているため、次期役員案の中で業務の引き継ぎを行う。

3. 次回総会運営案（横地会長）

- ・平成27年9月に中部圏支部学会があるため、6月に県学会は行わず総会だけの開催となる。以前の理事会の中で総会を東部が担当することとしていたが、中部が主に担当し、東・西部とともに運営する。平成28年度の県学会・総会を東部が担当する。→承認

議題

1. 前回議事録確認（伊藤事務局長）

- ・第1回理事会議事録について、本日全員の署名が入り完成し前年度の議事録は全て完成したと報告された。

2. 部局報告

1) 学術部（藺田常務理事・清水理事・三宅副会長）

- ・精度管理試料の梱包作業が5月13日に焼津の中北支店で行われた。
- ・一部施設で常温・冷蔵・冷凍の試料が同時に届かないため問い合わせがあった。宅郵便を使って配送された施設については時間差で到着する旨と病理標本と微生物標本の返信用封筒は同封されていない旨のメールを配信し

た。

- ・「日臨技精度管理事業・データ標準化事業システム（JAMTQC）」を使用して都道府県技師会臨床検査精度管理調査を行う際の使用申請書が変更された。申請書は毎年提出する。使用料については理事会で承認されている。
- ・精度管理調査印鑑（電子印）を使用するため設定費用の見積書が提示された。今年度の予算から執行する。→承認
- ・「検査説明・相談ができる臨床検査技師会育成講習会」を実施要項に基づき3年をかけて開催していく。
- ・今年度から日臨技からの研修会助成金の申請が変更となった。1研修2万円＋参加人数×500円で上限5万円となり年間最大20研修まで申請できる。1研修あたり60人集まらないと5万円にはならない。参加人数の多い研修会を申請していきたい。

2) 組織部（原田副会長）

- ・平成26年度静岡県知事表彰候補の推薦については該当者がなかった。技師会の記念式典が開催される年は推薦の条件が緩和されるため、そちらで推薦したい。
- ・名簿作成にともない施設・会員情報の変更を済ませてもらうよう会報にお知らせを載せる。7月1日にJAMTISから情報を得てデータを整える。

3) 広報部（松岡副会長）

- ・5月号の会報はGWが入るため原稿は4月22日に入稿、印刷は5月1日までに到着できるよう依頼し、5月8日に発送した。
- ・6月号は宮島会長の抄録を載せていく予定である。
- ・7月号は理事・役員の紹介を載せていきたい。
- ・平成26年度の掲載広告申し込みについて、会員名簿は4社、会報は2社、ホームページは1社の申し込みがあった。昨年度申し込みがされて今年度ない会社については催促していく。
- ・現在の様式では広告費を出せないという会社もあるので、来年度に向けて内容を考えていきたい。（豊田会計部長）
- ・新たな会社に賛助会員になってもらうよう技師会から申し入れる。

4) 会計部（豊田会計部長）

- ・日臨技より平成26年度助成金について通知が届いた。公益目的事業は日臨技・静臨技主催が対象となるため「メディメッセージ」は該当しない。「生涯教育推進研修会助成金」については前述通り、「検査説明・相談がで

きる臨床検査技師会育成講習会」については別枠であるため、1開催あたり20万円、参加者1人あたり1,000円の助成がある。総会委任状回収助成金は、総会委任状の回収について技師会事務所を経由すると1名あたり50円の助成があるため、なるべく技師会事務所で回収していきたい。

5) 事務局（伊藤事務局長）

- ・日臨技の議決権行使書について、技師会事務所に14日までに届いた回収状況を載せた（281枚）。会員が多い施設でまだ届いていない場合は、支部長経由で打診をする。静臨技では23日午前中に届いた分までは事務所から送るようにする。総会が流会にならないよう協力をお願いしたい。

3. 技師連盟より（山口常務理事）

- ・新年度都道府県連盟執行委員について報告された。

4. 愛知県医学検査学会シンポジスト（横地会長）

- ・第15回愛知県医学検査学会に公開シンポジストとして参加する旨が報告された。

5. 訂正のお知らせ（伊藤事務局長）

- ・静岡県理学療法士会より第13・14回公開講座決算報告書の記載内容の誤りがあったため訂正のお知らせが届いた。

6. ホームページ掲載分（伊藤事務局長）

- ・「認定心電検査技師制度について」、「日本糖尿病療養指導士の認定更新に関するお願い」、「心血管撮影技術基礎教育セミナーの開催」、「第11回静岡県臨床工学技士会学術大会の開催」がホームページにアップされた。

7. その他（伊藤事務局長）

- ・4月の新入会・会員異動・連絡責任者変更・施設名変更について報告された。→承認

「施設名変更」で社会保険桜ヶ丘総合病院が独立行政法人地域医療機能推進機構桜ヶ丘病院検査部と変更されているが、「独立行政法人地域医療機能推進機構」の部分を三島総合病院と同様に「JCHO」に変更できるかを高島理事に確認する。

「変更」で他県の施設に変更になっている会員については、自宅が静岡で他県の施設に通っているとのことであった。会員の所属は住所のある県と

なっている。

「転出」で新技師会が日臨技となっている会員がある。都道府県技師会を退会して日臨技のみに所属することは可能であるが、詳細は不明である。

もう1名同様のケースがある。今後問題となるため調査する。

- 静臨技総会の議案書が本日出来上がった。近々、各施設に配布する。参加者用（緑）と不参加者用（ピンク）の書面評決書があります。総会を成立させるには書面評決書が1,000枚必要となるため中北便での回収をお願いします。

以上